



くれ

971号
2024年1月1日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行

←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→



謹賀新年

呉支部長あいさつ

明けまして

おめでとう

ございます

昨年、WBCで劇的な展開の末に世界一となった侍ジャパンの活躍は、日本中に夢と感動を伝えてくれました。
チームの一員であった大谷選手は、実績や移籍など世界ニュースになる程の活躍を遂げています。
また、世界の注目という点では、G7広島サミットが開催されました。
世界経済や食料問題、安全保障など多くの課題が話合われました。
課題の一つであったウクライナとロシアの紛争は、残念ながら現在も続いています。
それだけではなく、ガザ地区で、イスラエルとハマスの軍事衝突も起きました。
戦争は、孤児や難民など、悲しみしか生みません。

一日も早く終戦し、対話による歩み合ひが必要ですよ。
また、この様な情勢によって、世界的な物価上昇や円安が進みました。
食料や燃料など、多くを輸入に頼る日本は、物価高という影響が出ています。
職場でも変化があります。

同一条件という建前で、夏期・冬期休暇を各1日ずつと削減されました。
社員が求めたのは、各3日ずつの休暇です。
人材不足や2024年問題の解決方法として、少ない対価と引き換えに、社員から労働力を搾取する事は、社員軽視としか思えません。

改悪を容認すれば、更なる改悪が繰り返されます。
改悪を断固反対する郵政ユニオンは労働者の味方として、職場や労働条件改善を目指し、活動して参ります。

これからも変わらぬご愛顧をお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

服部 浩

郵政グループの課題

郵政Gの課題は、郵便局ネットワークの維持である。

全国津々浦々にある郵便局のネットワークは強みではあるが、赤字となる局も多く、どの様に有効活用していくかの模索が続いている。

ネット活用も増えているが、かんぽ生命、ゆうちょ銀行、日本郵便は郵便局ブランドによって、事業や営業が成り立っており、切っても、切り離れるものではない。

かんぽ生命

不適正募集後に営業再開となっているが、目玉となる商品開発がない。

その為、自社商品でなく、手数料目当での、他社商品を売る営業スタイルに変わりつつある。

新規募集と既存保険の維持を行っているが、満期等によって、保有件数は減少の一途を辿っている。



日本郵便

来年10月に郵便料金値上げが検討されている。郵便局真横の家も、離島も、全国一律63円で配達。

自費で配る事を前提とすれば、どれだけ料金が安いかは理解できる。

減少が続いている年賀状は、ますます減る可能性が高い。

信書の独占事業とは言え、サービス低下は好まれない。

赤字だから値上げするのなら、経営者はいらぬ。

ゆうちょ銀行

全国の郵便局から集まった資金運用が課題である。

自前で融資するノウハウがない為、国債などで運用する率が高く、収益性が低い。

また、外国証券の運用率が高くなっており、円高となつた場合の影響は図りしれない。

貯金残高は約194兆円あり、残高自体は伸びている。

今後の予定

- 1月 9日(火) 17:00~
第4回呉支部執行委員会
支部事務所
- 1月20日(土) 13:30~
第12回中国地方委員会
オフィスセンター
旗開き

次号は 1月16日 予定

社員登用試験

一般職、地域基幹職ともに12月中旬、受験者に合否判定が伝えられた。

合格者の皆みなさま
おめでとうございます

今回の試験は、一般職の受験人数が減っていました。が、一般職から地域基幹職への登用は、前年度の2倍に採用枠が拡大されており、念願叶って地域基幹職への道が開かれた人が多くいます。
しかし、効力が発生するのは、4月1日である為、正式採用されるまで、油断は禁物です。

今回チャンスに恵まれなかった社員も、次回挑戦できる、飛躍の年になれば幸いです。